

Proxyとは

Proxyパターン

Proxyとは代理を表しており、あるオブジェクトの代わりに処理を行います。
オリジナルのオブジェクトへのアクセスをコントロールしたい場合に利用されます。
インスタンス化する際に、時間がかかる場合
処理が複雑、危険な処理がありチェックをしたい場合にProxyが用いられます



クレジットカード
(現金の代理)

Proxyパターン

目的

特定のオブジェクトに代わって処理を行う

仕組み

Subjectを継承したRealSubjectに処理を記述する

Subjectを継承したProxyを作成してRealSubjectの代わりに処理を行う

構成要素

Subject: RealSubjectとProxyを同一視して利用するためのインタフェース

RealSubject: Subjectを継承して処理を記述する

Proxy: RealSubjectの代わりにクライアントからの処理を返す。自分で処理ができなかった場合にRealSubjectを呼び出す

